

課題整理総括表

利用者名 介護 護 殿

作成年月日 平成27年04月01日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		① 神経痛 ④ う歯・義歯調整	② 前立腺肥大術後頻尿 ⑤ 白癬など	③ 咽頭不快・左耳難聴 ⑥ 記憶力・理解力低下	
状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	神経通・足腰の疼痛のためADL障害あり。外出はシニアカーを利用・愛用しているが、安全面で今後は利用が困難になる可能性あり。室内は手すり設置を検討中。
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	炊飯は自分でする。副菜は惣菜やヘルパーが調理することを希望。
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり	②①	改善 維持 悪化	時々間に合わず便器や床・衣類が汚染する。
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
服薬		自立 見守り 一部介助 全介助	⑥	改善 維持 悪化	自力でシャワー浴を週1回程度行っている。ADLにより介助が必要と思われる。今後入浴支援を検討する。
入浴		自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
更衣		自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	足腰疼痛で困難なためヘルパーが支援。 衣類は自分で洗濯。大物は嫁が支援。できる範囲で自力で行う。訪問時に家族と一緒にいる。大きなお金は長男が管理している。
掃除		自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	好きな食べ物のみ自分で購入。食材は家族が週1回程度購入。 近隣の友人たちが徐々に少なくなり、挨拶程度の付き合いのみ。他社交介護ソフト「まもる君」への参加は、難聴があるので、と希望しない。
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介助	⑥	改善 維持 悪化	抗真菌薬の処方もあり、自分で塗布してる様子。入浴を自分で行うので皮膚の観察が難しい。
買物		自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	子供も嫁も仕事がある。週一回は訪問するようにしている。 段差が多い。ベッドを利用しているが手すりはない。
認知		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり	③	改善 維持 悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり	①⑥	改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
居住環境		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
				改善 維持 悪化	

利用者及び家族の 生活に対する意向	本人)自分でできる事はしようと思う。転倒に気を付けて生活したい。家族)今の生活ができるだけ長く続いてほしい。
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】 ※
通院・内服薬の管理や日常生活面の支援について、今まで以上に家族支援が必要。本人が自分で決めたい気持ちがあるので、本人の意向と家族からの意見を踏まえて支援を行うことで、高齢独居生活をできるだけ長く続けることができると考える。家族では補えない部分はヘルパーサービスを利用調整する。	通院治療を受けながら体調管理を行い、自分のことは自分でする生活が継続できる。
メリハリのある生活、他社交交流会を持つために通所サービスを利用する事が望ましいが、本人の利用意向がない。	外出できる環境を整え、閉じこもりにならない生活ができる。
現在はシニアカーを利用して意欲的に外出することができている。今後、自力での外出が困難になった時に再度検討する必要がある。	
入浴は自分で行いたい気持ちがあるが、本人ひとりでは転倒等の事故のリスクが高い。皮膚状態の観察も含めて入浴支援が必要。	

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによる見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。